



主催者あいさつ(要旨) 中央執行委員長 加藤 誠

2025JR総連春闘について

2024JR総連春闘では、ペーは「所定算給額+4000円(平均10598円)」、過去最大の2600円の格差がつきまわった。JR東労組は定算込みで5・01%、連合平均は9・10%のため、私たちのペー平均は連合を下回り、産業間格差は拡がるばかりです。

2025JR総連春闘は、要求時京から連合平均を下回る訳にはいきません。よって、純ペー5%相当として、「一律15000円」の統一ペー要求を掲げ、生活実感に基づいた賃上げと産業間・地域

主な発言

●被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件について

被害者による傷害事件だ。被害者のAさんを処分し出向させたのは二重処分であり、JR東日本が仕掛けたえん罪事件だ。組合員からは「意見の異なる社員は暴力で排除されるのか」などの意見が出されており、暴力容認の企業体質に立ち向かわなければならぬ。Aさんの記者会見には感銘を受けた。個人訴訟に打って出たのは勇気が必要であり、共にたたかう。社員を精神的に追い込む一方で管理者を擁護するなどあり得ない。皆でたたかえるのが労働組合の最大のメリット。県議会・市議会議員の皆さんも共有し、「こんな管理者がいるJRは不安だ」と言われている。Aさんに対する物心両面の支援に感謝。懲戒処分が出された重大な内容にも関わらず会社は事実確認すら一致しない。Aさんは正防衛をしたのであり、処分・出向は無効とすべきだ。Aさんが個人訴訟に立ち上がったのは、JR東労組の仲間がいるからだ。全社員に関わるものであり、安心して働ける職場をつくるためにたたかう。未加入者の中には、会社から非人間的な対応をされても相談できずに泣き寝入りし、退職せざるを得なくなった人もいる。しっかりとたたかっている。

●25春闘 夏季手当について

2025JR総連春闘を統一要求・統一闘争でたたかう！増収増益は組合員・社員の努力の結果だが、年末手当はそれに対していない。賞金は物価に追いつかず、労働者はどう生きればいいのか。バス職場では24春闘のペー額が世間水準に届かなかった。若年離職の危機感を一致し苦渋の妥結をしたが、夏季手当は「新しいものさし」というワードを持ち出して要求から乖離した回答に。労働条件の最たるものが賞金。57歳減額制度も時代遅れであり、25春闘は春闘集金と組織拡大でたたかう。基本給を底上げしなければ人材失は止まらない。数の力、組織拡大の重要性を広める。グループ会社は基本給が低く、超勤や手当が生活給になっている。25春闘も本体と同じ要求額でたたかう。期末手当を年間6ヶ月に戻すため、賞金は「たいたい」とも「1」であることを訴える。

●懲罰的日勤教育・パワハラ等にこぼれ

宇都宮運輸区でのパワハラ炎発で総決起集会を開催した。たたかいつけるのと共に、一年以上も開催されていない団体交渉の早期開催を求めることを確認し、ようやく団交で会社に指摘できた。労基署への会社報告と団交での回答に差異があることも議論し、懲罰的日勤教育で組合員が追い込まれる様子を赤々と団交で指摘してきた。復讐に向けて組合員はハビリを取り組んでいる。安心して働ける職場づくりに向けて最前線でたたかっている。

●ローカル線・地域とのつながりについて

市民団体「ひとへんサポーター」による陸羽東線の署に協力いただいた。鉄道模範イベントも開催され「地元タクシーが廃業となる中、鉄道も無くなったら公共交通が消えてしまう」「交流人口が減少してしまふ」との声が寄せられている。今後「旅のプレゼン」をひとへんサポーターと連携して開催する。会社は地域軽視の姿勢だが、家庭の都合で列車でしか通学できない方もいる。地域としての鉄道や駅の役割を考えたい。

●安全問題・職場現実・経営姿勢について

休日出勤が常態化し疲弊している。要員不足を「融合と連携」で解消しようとした結果、プロが不在の薄っぺらな仕事になっている。パワハラも蔓延し、モラハラも社員つへり、モラハラをさせない職場づくりが目指されている。バス業員全体で業務員も車内係も不足し、勤務間インターバルも最低限の9時間を確保するのがやっとの状況。本社管理者までもが乗務し、通行止め情報の共有が滞る等の弊害が出ている。仙石線ワンマンが提案された。ホームに人があふれる状況で可能なのか。申し入れしても、本社がプレス発表しないと団体交渉すらできない。その中で統括センターで施策がとられる。現在、仙石線ワンマン線はワンマンでは、30秒の停車時間は開閉基本動作、乗降促進放送、閉扉と一瞬で過ぎる。仙石線は駅数が多く無人駅もあるため、精神・肉体・体力面で厳しい。会社は「モラハラで見ると目で見えない」という「ドナ」を開発する行為は促さないと。ところが、車掌業務の意義を捉えて施策をつくる。1000人規模の大規模統括センターがつくれるが、労使議論が溜まってはならない。長編成ワンマン施策も議論をつくる。福知山線脱線事故から20年、日航機墜落事故から40年。自らを律し安全を指し合おうことが大切だ。慢性的要員不足の中で運転士と車掌の相互折り返しを提案された。現場長への「エンド交換の余裕がほしい」という声があふれた。一部の声のみをもって全体の声のように示すのは問題だ。暴雪の中、激励の支援をいいただき、除雪で疲弊した組合員に配布した。暴雪の中で運して途中で止まる。運休しても代行輸送されない等の現実がある。JR東労組として雪害座談会を行い、未加入者を含め本音で議論した。分会長の異動が発生。この会社だから異動は仕方ない」という意識が広まらなければならない」という意識が広まらなければならない。自己申告書や面談を無視した異動はショボロテーションの趣旨に反することを分会長として提出した。在来線探検部門の組織員直しの提案は、探検部門の統括センター化」と言える内容で、問題は、①これまでの技と人間の異動が「担務変更」扱いとして都合よく人が動かされ、要員不足が解決せずに動き度けが上がる。②底意意識の喪失や技術継承不足を懸念。③慣れないエリア・設備での安全を担保できるか不透明。「新たな施策に対する本柱」を基軸に奮闘する。2月23日は山貨事故を継承する安全集金を開催する。▼事務センター意

加藤 誠

JR総連と共に「統一要求・統一闘争」で連帯・共闘をつくり、バス東北、バス関東、JESSの仲間と共に2025JR総連春闘をたたか抜きます。

「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件について」

1月31日、処分や出向の取り消し、不当処分により生じた損害の賠償請求、管理者からの暴行や反省文を強要されたことへの感謝を求め、Aさんが個人訴訟として処分取消等請求訴訟を行いました。また、東京地裁にて共同で記者会見を行いました。JR東労組は「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件について」を組織強化につなげる。

●平和について

沖繩平和研修を担ったが、「自分がつくる研修」にはなっていない。しかし、家族と参加した組合員からの報告を受け、結節点となりうる研修をつくれたと実感。ポッド研修でワークショップの現地に立ち、「怒り」でも「かわいさ」でも「恐怖」を算定。人間にこんなことができてしまうのか。多数派になると倫理観を上回ってしまう現象は、パワハラも同じだと感じた。

●組織強化・拡大 あらゆる妨害を許さないたたかい

目に見えるJR東労組運動を意識し、組織拡大を実現。入社時の会社研修が「JR東労組は危険」と感じさせるもの。であったと聞いたが、職場改善に関する自然体での意見交換や、仲間を感じてもらえる場づくりを積み重ねたことで、個別的信頼力があふれた。JR東労組への「組織的信頼」が広がった。JR東労組運動への共感で、仲間が熱い決意を手こたえた。未加入の仲間が一言をきっかけに議論したところ、加入に至った。加入のタイミングを持つ人は多い。ではないか。第43回定期大会で「常務線の施策がライン管理で行われることを踏まえて、東京地本と共に運動したい」と発言した。組合員を第一に考えた組織体制とした。18春闘の大敗北で今の組織現実を生んだ。その中で新潟と長野が「結ぶ」と、信越地域本部を立ち上げた。組織を支えるのは数の力であり仲間だ。信越地域本部を結成し、10月には羽越本線脱線事故現場踏査や、年末手当総決起集会も開催。JR東労組運動を新潟・長野の地に残すことができた。JR東海労は許されない組織破壊行為を行ったが、その中で長識ある組合員がJRセンター労組を立ち上げた。カンパ等で支援したい。縦組織を強固にするためにも、横系である部会運動をしっかり行う。部会発行の情報を活用してほしい。

総括答弁(要旨) 書記長 高橋 孝一

19名の委員とバス東北本部、バス関東本部、JESS協議会の仲間から春闘について発言いただきました。大会以降25名、18春闘以降では300名の組織拡大を実現しており、普段の世話役活動をペーに実現性を含め、自らの言葉でJR東労組加入を訴え、変化を積み加入まで関わることも、加入した組合員と拡大の運動をつくり出していることが教訓です。

2025JR総連春闘について

JR総連春闘3本のスローガンをともに、全国の仲間と共に「統一要求・統一闘争」で「連帯・共闘」を高め、闘い抜きます。一律15000円の賞金引き上げと労働諸条件の改善をめざし、定期昇給を守り、実質賃金の確保と生活改善に向けて要求を掲げます。討議資料をもとに「取の巻く情勢・課題を議論し、騙されない・判断を許さない」ことを一致することが前提です。

夏季手当については、「同時期議論のねらい」を議論し、職場からのたたかいを強化していきます。昨年同様3・2ヶ月を要求し、実質年間臨時給と言える経営姿勢を突破し満額回答を求めたい。課題は「努力に報いていない経営姿勢」の突破であり、組織力を高めることです。労使協約協理を背景の一部社友会を活用し労働組合の形骸化が狙われていることに関する議論を深め、職場からつくり出した組織力・交渉力を武器に「賞金はたたかい取るもの」ということを前提に、運動の場づくりをすすめていきたいと思います。

「再調査しない」団体交渉で賞罰・ペーイパシーに関する議論は馴染まない。三当防衛という判断はこの場ではできない。等の不誠実な回答が繰り返されたため交渉を打ち切らざるを得ず、Aさんは個人訴訟を断りました。今回はAさんの個人訴訟ですが、当時社友会委員でありながら社友会から守られず、同じ目に入らざるを得ないという思いにとっ心ずかか問われています。本部としてAさんが決意した個人訴訟を全組合員と共に支援したいと考えます。物心両面の支援について議論をお願いします。

要員不足を根本とした職場の問題に対して

会社は人口減少と気候変動をリスクと

「再調査しない」団体交渉で賞罰・ペーイパシーに関する議論は馴染まない。三当防衛という判断はこの場ではできない。等の不誠実な回答が繰り返されたため交渉を打ち切らざるを得ず、Aさんは個人訴訟を断りました。今回はAさんの個人訴訟ですが、当時社友会委員でありながら社友会から守られず、同じ目に入らざるを得ないという思いにとっ心ずかか問われています。本部としてAさんが決意した個人訴訟を全組合員と共に支援したいと考えます。物心両面の支援について議論をお願いします。

識に立つことが重要です。今の企業体質では、いつ自分に降りかかるかわからない「氷山の一角」と言えます。JR東日本グループは系統を問わず「要員不足」が共通課題です。融合と連携」の名のもとで多能化が進み、管理者も含めて一人二役三役が当たり前になり、肉体的にも精神的にも負担が大きくなり「ゆとり」が無くなっています。その背景があって、過去に例のない重大事故や、一部管理者によるパワハラ・暴行などが発生し、健康も被害を蒙っています。宇都宮の仲間の職場復帰をかち取るたたかい、そして八王子の仲間と連携したたたかい、極めて雇用と利益に関する問題と位置づけ、安全第一、現場第一、人間第一主義を掲げ、健全な職場をつくるたたかいとしていきます。

「平和・人権・民主主義」を守り、さらなる連帯をつくり出すたたかい

戦後80年を迎え、リーダー一人ひとりが「時代認識を深め」「政治意識を高め」「実践的に連帯・共闘」のたたかいをつくり出すかが課題です。地方ローカル線のたたかいで署名の取り組を地域の方々とつくり出し、社会的に発信し連帯の輪を広げたこの発言もありました。仙台地本の旅し成功に向けて本部も連携していきます。また、衆院選で培った連帯を強化し、参院選での必勝に向けてたたかいます。

最後に、世代交代が進み、それぞれ地方の現実もありますが「抵抗し、ヒューマン」の精神を根底に、組織と仲間を感得できる運動を構想し、リーダーが前に出て実践し、つくり出しましょう。2025JR総連春闘勝利、人間味ある職場を取り戻すために、Aさんと共にたたかひ抜きましよう。そのことを述べて総括答弁とします。

発言した委員
(敬称略・順不同)

昆野彰夫、田頭啓(盛岡)、畠山翔、櫻庭知也(秋田)、湯ノ目勝、工藤克貴(仙台)、後藤健一(水戸)、鈴木大貴、加瀬貞人(千葉)、鈴木雄大(東京)、川崎一弘、梶田優一(横浜)、小宮山直樹(八王子)、唐紙将、矢口昌広(大宮)、阿達朗(新潟)、奥山直樹(長野)、齋藤誠(工務)、仁戸田茂樹(さかく)

**ご来賓で
お越しいただいた皆さま**

JR総連 執行委員長 山口浩治様
執行副委員長 佐藤英樹様

JR東労組OB会 会長 奥山光昭様
事務局長 森 将美様
事務局次長 遠藤政之様

「被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」代理人 弁護士 仲田隆介様
弁護士 長島 亘様

承認された事項

- スローガン
- 第43回定期大会以降の経過と当面の取り組み
- 労働協約・協定の締結承認
- 2025年度暫定予算
- 特別決議 (4面参照)
- 委員会宣言

NEW YEAR QUIZ 2025

解答&当選者発表

平和な社会

組合員・ご家族・OB会のみならず、たくさんのご応募ありがとうございました。商品は順次発送します。

【委員長賞】 ビールサーバー(1名) 飛内 寿子さん(盛岡運輸区分会・飛内学さん家族)

【副委員長賞】 空気清浄機(1名) 加藤 晋 さん(小山運輸区分会)

【副委員長賞】 高性能シャワーヘッド(1名) 伊藤 茂樹さん(彦子駅分会)

【副委員長賞】 トースター(1名) 中野 琴音さん(山形新幹線運輸区分会・中野孝彦さん家族)

【副委員長賞】 高性能ドライヤー(1名) 内田 雄心さん(大宮駅分会・内田貴倫さん家族)

【書記長賞】 Amazonギフト券(1名) 苗木 潤さん(JESS天王台駅分会)

◇みなかみホテルジユラク ペア宿泊券(1名) 清水 裕子さん(宇都宮運輸区分会・清水修一さん家族)

◇カタログギフト(1名) 石川 伸也さん(北上連合分会(東北総合サービス北上駅))

◇おこめ券(1名) 北井 珠里さん(埼京運輸区分会)

◇三陸鉄道さんてつサイダー(1名) 安田 貴一さん(熱海駅分会)

◇真空断熱水筒(4名) 水野 拓馬さん(新庄分会) 穴田 恵介さん(武蔵野運輸区分会) 高橋 華子さん(秋田支社分会・高橋淳さん家族) 金田 由佳里さん(新潟連合分会(J-TREC)・金田 均さん家族)

◇鉄道ファミリーめん・カレー・つゆセット(15名) 斉藤 瑞歩さん(盛岡車両センター分会・斉藤裕太郎さん家族) 松本 明奈さん(さいたま運輸区分会・松本忠夫さん家族) 浅川 夏見さん(八王子車両センター分会・浅川貴俊さん家族) 佐藤 美郷さん(弘前運輸分会) 佐藤大輔さん(津田) 等々力 孝之さん(JRバス伊那分会) 内藤 真一さん(横浜信号通信技術センター分会) 柳沼 大祐さん(JRバス白沢分会) 近藤 直子さん(東京地本 指令室分会・近藤智紀さん家族) 石井 勇二さん(JRバス浦分会) 阿達 朗さん(新潟地本) 庄司 浩明さん(成田支部分会(銚子乗務ユニット)・庄司健人さん家族) 稲瀬 加恵さん(武蔵野運輸区分会・稲瀬大さん家族) 八巻 崇嗣さん(山台地本08会(福島支部)) 進藤 弘文さん(秋田地本08会中央支部) 中村 勇太さん(宇都宮信号通信連合メンテナンスセンター分会)

◇鉄道ファミリーお菓子セット(15名) 岡本 尚美さん(戸塚駅分会・岡本光太さん家族) 佐沼 詩穂香さん(一関運輸区分会) 上唐湊 豊さん(大宮統括センター運輸分会) 五十嵐 勉さん(郡山総合車両センター支部 台車科分会) 高岡 太一郎さん(原ノ町支部) 町田 文夫さん(長野地本08会) 西村 重範さん(新潟地本08会(新潟新幹線運輸区分会)) 本宮 正身さん(千葉工務分会(ビルテック)) 和泉 裕樹さん(横浜運輸区分会) 亀井 芳夫さん(大宮地本08会(小山運輸区分会)) 山松 理果さん(立川統括センター(運輸)) 深川 彩香さん(品川営業統括センター分会) 高橋 洋子さん(仙台分会(仙台駅業務ユニット)・石川拓隆さん家族) 須藤 あみさん(弘前運輸分会・須藤毅さん家族) 澤田 和真さん(盛岡新幹線運輸区分会・澤田守彦さん家族)

